

ゆりかご園だより

2期(6~9月)のねらい

からだづくり活動を通して
子どもの仲間関係の質を高めよう
2022.7.1



4月に予定していたクラス懇談会、新型コロナウイルスの関係で、3クラスが中止になりました。6月になってようやく全クラスが開催できそうと思っていましたが、まだまだ難しい状況のようです。先月末、陽性者が確認された際

は、保護者の皆様にご協力をいただき感謝申し上げます。

懇談会の大切さは、今年度の「ちいさい仲間5月号」に特集が組まれていますし、ゆりかごの実践も載っています。また、地域の中で保育園が子育て支援の役割を担っているということについては、先月京都で開催された「全国保育問題研究集会」の分科会(ZOOM)でゆりかごの実践を報告しました。どちらにも共通するのは、子どもの成長には大人のつながりが欠かせないということです。

今年長クラスでは、保育園に1泊する「お泊まり会」を企画中です。どんなことをしたいのか、相談しながら具体化しています。コロナ禍では子どもたちの要求がどこまで実現できるのか、今の状況では開催の判断も迷いますが、大人も悩みながら一緒に考えているところです。

そんな中、新しくチームを変え、そのチーム名をメンバーで相談して決めるという話し合いの場に私も居合わせました。

それぞれが「良い」と思うチーム名をあげ、話し合い調整していくチーム。

「ジャンケンで勝った人の言った名前にして」とまず決め方を考えるチーム。

5つのチームが同時に話し合いを始めても、チームによってはなかなか意見がまとまらないところもありました。

そもそもなぜ「話し合い活動」を大切にしているのか。まずは自分の思いを大人のかを借りながら相手に言う、相手の思いを聞くということから始まります。そして年長ともなると、仲間との話し合いで納得と共感を得ながら、個人の要求が集団の要求へと変化していく。みんなが話し合っただけの達成感と満足感を感じることができません。この話し合う経験を幼児期にたっぷり味わってほしいと思います。

大人も子どももつながれる機会が減ってきていますが、自分の意見を安心して言うには信頼する仲間関係が必要になります。人と人が話し合い、わかり合うからつながれる。そんな関係を大切にしたいなと思います。

